



MIXING CONSOLE

---

# MG12XUK

## 取扱説明書 (保証書付)

安全上のご注意

4~6ページ

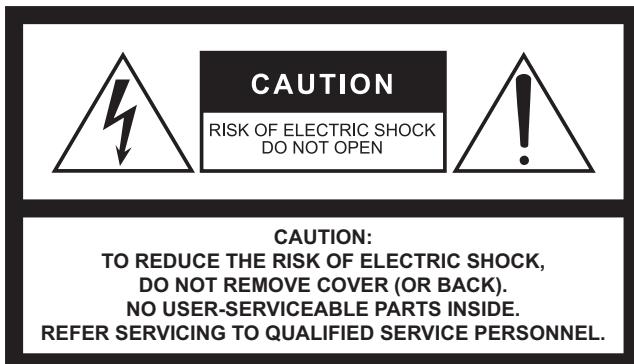
クイックスタートガイド

9~11ページ

困ったときは？

18~20ページ





The above warning is located on the rear of the unit.



L'avertissement ci-dessus est situé sur l'arrière de l'unité.

## Explanation of Graphical Symbols Explication des symboles



The lightning flash with arrowhead symbol within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated “dangerous voltage” within the product’s enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons. L’éclair avec une flèche à l’intérieur d’un triangle équilatéral est destiné à attirer l’attention de l’utilisateur sur la présence d’une « tension dangereuse » non isolée à l’intérieur de l’appareil, pouvant être suffisamment élevée pour constituer un risque d’électrocution.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the product. Le point d’exclamation à l’intérieur d’un triangle équilatéral est destiné à attirer l’attention de l’utilisateur sur la présence d’instructions importantes sur l’emploi ou la maintenance (réparation) de l’appareil dans la documentation fournie.

## IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

- 1 Read these instructions.
- 2 Keep these instructions.
- 3 Heed all warnings.
- 4 Follow all instructions.
- 5 Do not use this apparatus near water.
- 6 Clean only with dry cloth.
- 7 Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer’s instructions.
- 8 Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
- 9 Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
- 10 Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- 11 Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- 12 Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.
- 13 Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- 14 Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.



### WARNING

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPARATUS TO RAIN OR MOISTURE.

(UL60065\_03)

## PRÉCAUTIONS CONCERNANT LA SÉCURITÉ

- 1 Lire ces instructions.
- 2 Conserver ces instructions.
- 3 Tenir compte de tous les avertissements.
- 4 Suivre toutes les instructions.
- 5 Ne pas utiliser ce produit à proximité d'eau.
- 6 Nettoyer uniquement avec un chiffon propre et sec.
- 7 Ne pas bloquer les orifices de ventilation. Installer l’appareil conformément aux instructions du fabricant.
- 8 Ne pas installer l’appareil à proximité d’une source de chaleur comme un radiateur, une bouche de chaleur, un poêle ou tout autre appareil (y compris un amplificateur) produisant de la chaleur.
- 9 Ne pas modifier le système de sécurité de la fiche polarisée ou de la fiche de terre. Une fiche polarisée dispose de deux broches dont une est plus large que l’autre. Une fiche de terre dispose de deux broches et d’une troisième pour le raccordement à la terre. Cette broche plus large ou cette troisième broche est destinée à assurer la sécurité de l’utilisateur. Si la fiche équipant l’appareil n'est pas compatible avec les prises de courant disponibles, faire remplacer les prises par un électricien.
- 10 Acheminer les cordons d'alimentation de sorte qu'ils ne soient pas piétinés ni coincés, en faisant tout spécialement attention aux fiches, prises de courant et au point de sortie de l'appareil.
- 11 Utiliser exclusivement les fixations et accessoires spécifiés par le fabricant.
- 12 Utiliser exclusivement le chariot, le stand, le trépied, le support ou la table recommandés par le fabricant ou vendus avec cet appareil. Si l’appareil est posé sur un chariot, déplacer le chariot avec précaution pour éviter tout risque de chute et de blessure.
- 13 Débrancher l’appareil en cas d’orage ou lorsqu'il doit rester hors service pendant une période prolongée.
- 14 Confier toute réparation à un personnel qualifié. Faire réparer l’appareil s'il a subi tout dommage, par exemple si la fiche ou le cordon d'alimentation est endommagé, si du liquide a coulé ou des objets sont tombés à l’intérieur de l’appareil, si l’appareil a été exposé à la pluie ou à de l’humidité, si l’appareil ne fonctionne pas normalement ou est tombé.



### AVERTISSEMENT

POUR RÉDUIRE LES RISQUES D'INCENDIE OU DE DÉCHARGE ÉLECTRIQUE, N'EXPOSEZ PAS CET APPAREIL À LA PLUIE OU À L'HUMIDITÉ.

(UL60065\_03)

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

## 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 「警告」と「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



- この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。



警告

## 電源 / 電源アダプター



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ストーブなどの熱器具に近づけない
- 無理に曲げない
- 傷つけない
- 電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

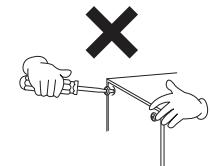
## 分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



## 水に注意



禁止

- この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 聴覚障害



イコライザーのつまみとLEVELのつまみをすべて最大にしない。

接続した機器の状態によっては、フィードバックが起きて聴覚障害やスピーカーの損傷になることがあります。



大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



- ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。
- 電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

## 火に注意



この機器の近くで、火気を使用しない。  
火災の原因になります。

## 異常に気づいたら



下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード/プラグがいたんだ場合
- 製品から異常なにおいや煙が出た場合
- 製品の内部に異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。



この機器や電源アダプターを落とすなどして破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



## 電源 / 電源アダプター



電源アダプターは、布や布団で包んだりしない。

熱がこもってケースが変形し、火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

## 設置



不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



この機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

## お手入れ



この機器をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

## 取り扱い



この機器の上にのつたり重いものをのせたりしない。

ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

この機器が破損したり、けがをしたりする原因になります。



接続されたケーブルを引っ張らない。

接続されたケーブルを引っ張ると、機器が破損したり、けがをしたりする原因になります。

## 注記(使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ■製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- ・テレビやラジオ、AV機器、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・直射日光のある場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になります。
- ・この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色/変質する原因になります。
- ・お手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ・機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなつてから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- ・電源アダプターは、この機器から50 cm以上離してください。この機器に雑音が生じる場合があります。
- ・つまみに、オイル、グリスや接点復活剤などを補給しないでください。電気接点の接触やつまみの動きが悪くなることがあります。
- ・使用後は、必ず電源をオフにしましょう。
- ・電源を切った状態(電源がスタンバイの状態)でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ■コネクターに関する注意

- ・XLRタイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです(IEC60268規格に基づいています)。  
1: グラウンド(GND)、2: ホット(+)、3: コールド(-)
- ・やむをえず本機のバランス(平衡)出力をアンバランス(不平衡)機器に接続する場合は、グラウンド電位の違いにより機器の故障の原因となる可能性がありますので、各機器間のグラウンド電位を合わせて使用してください。アンバランス(不平衡)機器接続ケーブルの配線はピン3: コールドとピン1: グラウンドを接続してお使いください。

## お知らせ

### ■データの著作権に関するお知らせ

- ・ソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・この製品は、Steinbergおよびヤマハが著作権を有する著作物や、Steinbergおよびヤマハが第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハの許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

### ■製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- ・この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。
- ・この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。(VCCI-B)

### ■取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。
- ・ソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・SteinbergおよびCubaseとCubasisは、Steinbergの登録商標です。
- ・IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

### ■廃棄に関するお知らせ

- ・この製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板附近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom\_ja\_02)

このたびは、ヤマハミキシングコンソール MG12XUKをお買い求めいただきまして、  
まことにありがとうございます。

本製品は、複数の音声ソースのバランスを調整するためのミキシングコンソールです。

この取扱説明書では、ミキサーの操作に慣れていない方が、バンドによる生演奏や各種イベントなどにおいて、複数の音声ソースをミキシングする方法を説明しています。本製品のさまざまな機能を十分にご活用いただくために、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

## 目次

---

安全上のご注意.....	4	Technical Specifications.....	21
目次 .....	7	一般仕様 .....	21
主な特長.....	8	アナログ入力規格.....	22
クイックスタートガイド .....	9	アナログ出力規格.....	22
STEP 1 スピーカー、マイク、楽器などを接続する .....	9	デジタル入出力規格.....	22
STEP 2 スピーカーから音を出す .....	10	端子/コネクター一覧 .....	23
各部の名称と機能.....	12	コネクターの種類.....	23
トップパネル		ブロック&レベルダイアグラム.....	24
チャンネルセクション .....	12	寸法図 .....	25
マスターセクション .....	14	アフターサービス .....	26
内蔵エフェクトセクション .....	15	保証書 .....	27
リアパネル			
USB セクション .....	16		
エフェクトをかける .....	17		
困ったときは? .....	18		
音が出ないときは .....	18		
その他 .....	20		

# 主な特長

## D-PREの搭載と高音質オペアンプの採用

モノラル入力チャンネルにディスクレート方式Class-Aマイクプリアンプ「D-PRE」を搭載しています。D-PREヘッドアンプ部には高級オーディオで使用されるインバーテッドダーリントン回路を採用しています。この回路は増幅素子を多段構成にすることで大電流と低インピーダンスを確保し、中低域にハリと艶をもたせた質感を実現しています。また、専用のオペアンプ「MG01」を合わせて採用することで、豊かな低音感と空気を感じる伸びやかな高音を実現しました。

入力部にはコンボジャックを採用し、XLR、TRSフォーンの両コネクターに対応します。また、PAD回路によりラインレベルの入力を受けることができ、幅広い機器に対応できます。

## 高品位デジタルエフェクトを24種類搭載

MG12XUKには、業務用として定評のあるSPXアルゴリズムを採用したエフェクトを24種類内蔵しています。特にリバーブやディレイは質感が高く、ナチュラルな質感を保ちながら空間表現の幅を広げることができます。

## 24ビット/192 kHz対応USBオーディオインターフェース

MG12XUKには、USB2.0、最高24ビット/192 kHzに対応したUSBオーディオインターフェースを搭載しています。そのため、パソコンのプレーヤーでBGMを再生したり、Cubase AIなどのDAWを使用してアーカイブ用にミキサー出力を録音したりできます。

また、USBの転送にアシンクロナス転送方式を採用しています。オーディオデータはMGから供給される高精度なオーディオクロックをベースに転送され、高音質な録音/再生ができます。

## MG Rec & Play

アプリケーションMG Rec & Playを使うと、MG12XUKに接続したiPhone/iPadへの録音や、iPhone/iPadからの楽曲や効果音の再生ができます。ライブの録音、イベントでのBGM再生、パーティでの効果音再生など、さまざまな目的に使用できます。

## Cubase AI、Cubasis LE

MG12XUKは、スタインバーグの音楽制作ソフト「Cubase AI（ダウンロード版）」をバンドル、およびiPad用音楽制作アプリケーション「Cubasis LE」に対応しています。

### NOTE

MG Rec & Play、Cubase AI、およびCubasis LEの詳細情報については、下記のヤマハウェブサイトをご参照ください。

[http://www.yamahaproaudio.com/mg\\_xu](http://www.yamahaproaudio.com/mg_xu)

### 付属品（お確かめください）

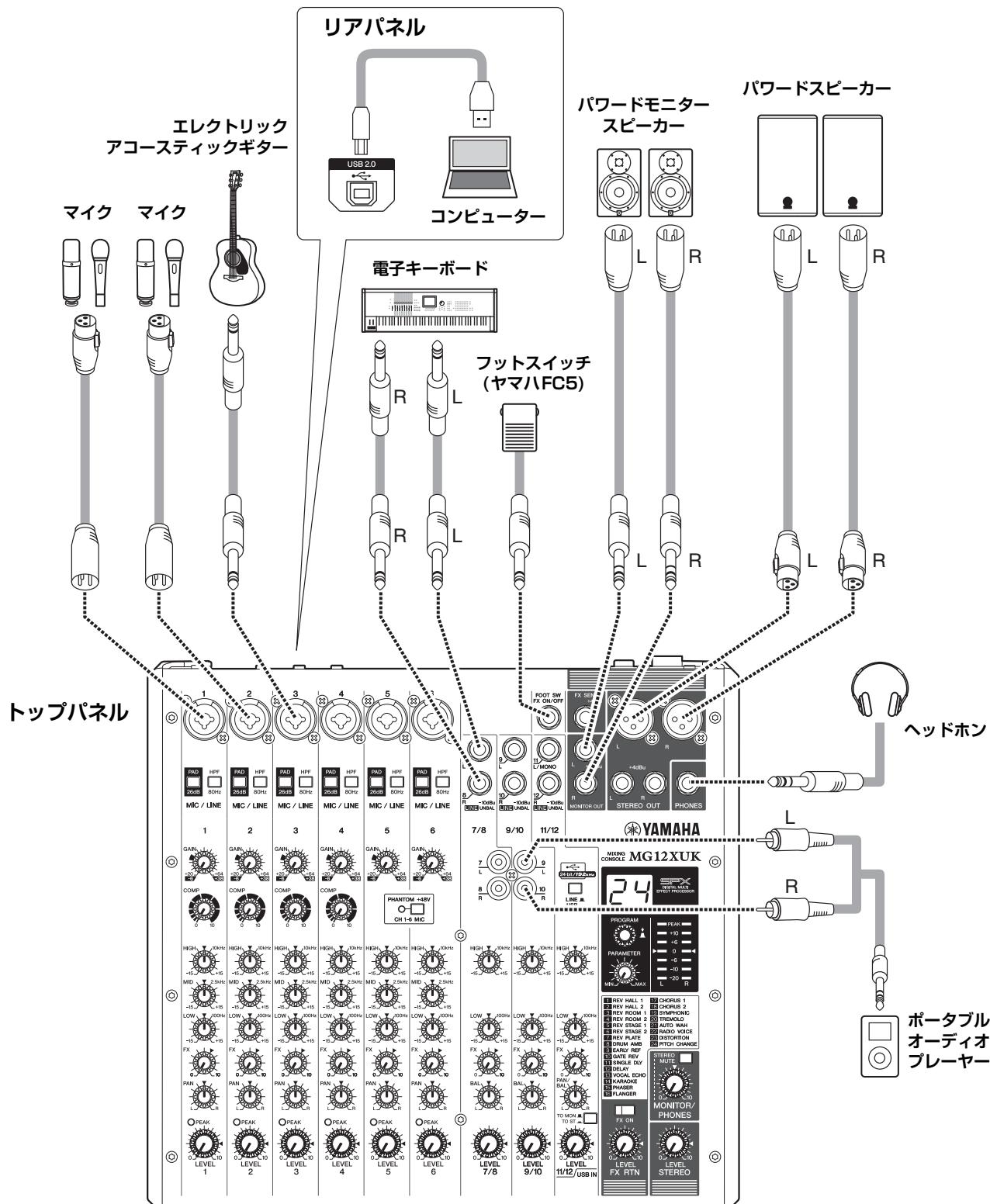
- ・電源アダプター
- ・CUBASE AI DOWNLOAD INFORMATION：  
Steinberg DAWソフトウェア「Cubase AI」をダウンロードする際に必要なアクセスコードが記載されています。
- ・取扱説明書（本書）：  
保証書は27ページにあります。

# クイックスタートガイド

## STEP 1 スピーカー、マイク、楽器などを接続する

- スピーカー、マイク、楽器など、本体に接続するすべての機器の電源をオフにします。
- 下記の接続例を参考にして、スピーカー、マイク、楽器などを接続します。

### 接続例

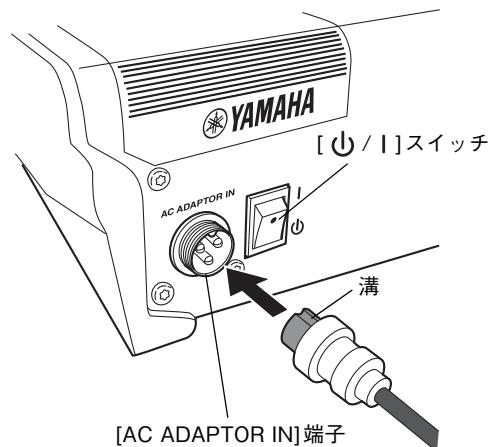


## STEP 2 スピーカーから音を出す

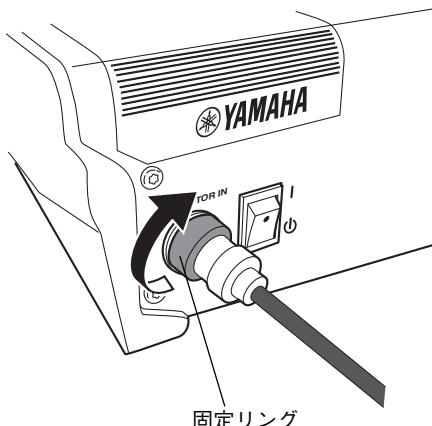
1. 本体リアパネルの[**△ / I**]スイッチが[**△**]側(電源が切れている状態)に倒れていることを確認します。

2. 付属の電源アダプターを接続します。

- ① 電源アダプターのプラグの溝を上向きにして、  
[AC ADAPTOR IN]端子に差し込みます。



- ② 固定リングを時計回りに回して固定します。

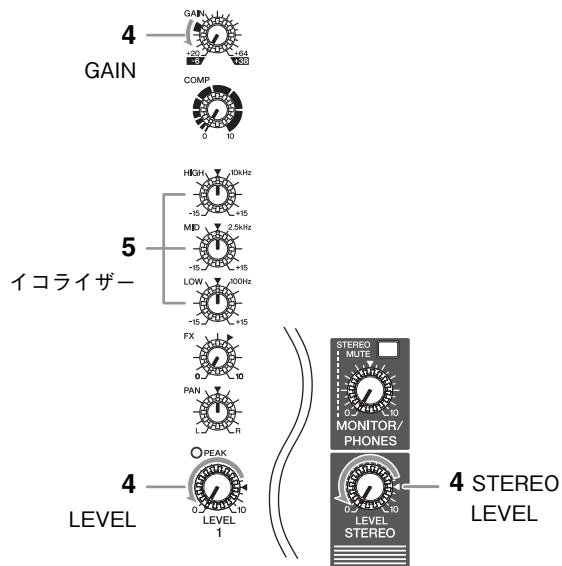


- ③ アダプターの電源プラグをコンセントにしっかりと差し込みます。

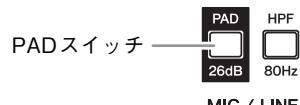
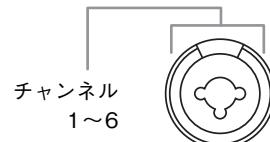
3. 本体のすべてのスイッチが押されていないこと(**■**)を確認します。

4. [GAIN]つまみ(白)、[LEVEL]つまみ(白)、  
[STEREO LEVEL]つまみ(赤)を左に回しきります  
(最小にします)。

5. イコライザーツマミ(緑)をセンター位置「▼」に合わせます。

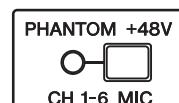


6. チャンネル1～6に出力レベルの大きい機器(例:CDプレーヤー、電子キーボード)を接続したときは、各チャンネルの[PAD]スイッチをオン(**■**)にします。

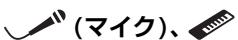


### NOTE

コンデンサーマイクを使用する場合は、[PHANTOM +48V]スイッチをオン(**■**)にしてください。



7. パワードスピーカーやアンプの音量が最小に設定されていることを確認します。

8.  (マイク)、 (楽器)、 (オーディオ機器)  
→本体の[山/!]スイッチ→ (スピーカー)の順に電源をオンにします。

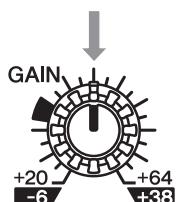
**注記**

スピーカーから大きなノイズが出ないようにするため、上記の順に電源を入れてください。電源をオフにするときは、逆の手順で行なってください。

9. [STEREO LEVEL] つまみを「◀」の位置に合わせます。



- 10.マイクを接続したチャンネルの[GAIN]つまみを12時の位置に合わせます。



11. 使用する各チャンネルの[LEVEL]つまみを「◀」の位置に合わせます。



- 12.マイク、楽器、オーディオ機器で音を出しながら、パワードスピーカーやアンプ側の音量を、必要な音量までゆっくり上げます。

**NOTE**

音が出ない場合や音が歪んでいる場合は、18ページからの「困ったときは？」をご覧ください。

- 13.[LEVEL] つまみを回して、各チャンネル間の音量バランスを調節します。

以上で完了です。

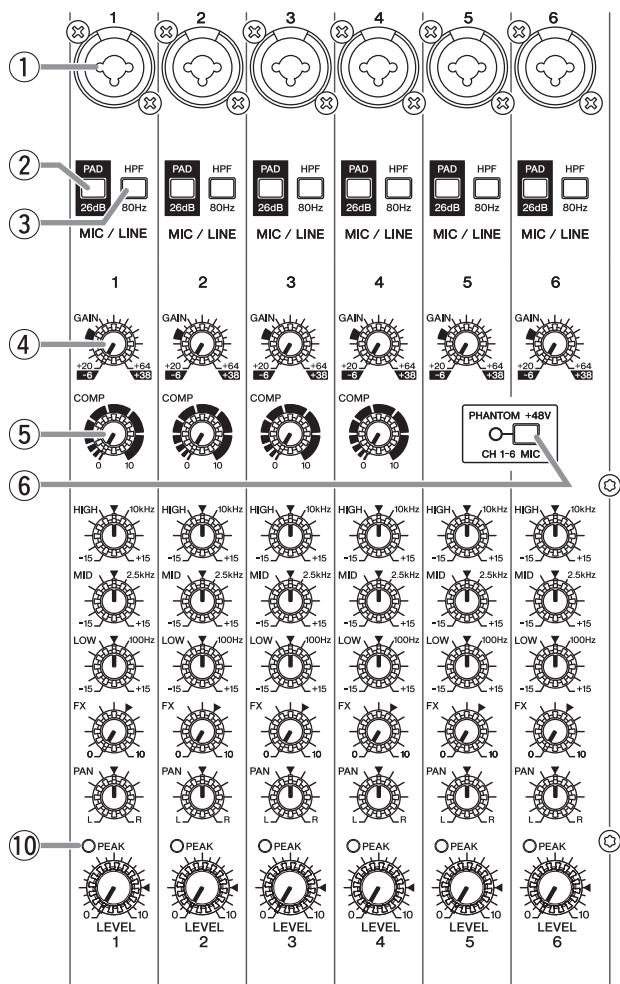
**NOTE**

音量は、[PAD]、[GAIN]、[LEVEL]の3つの機能を使って調節します。[PAD]スイッチと[GAIN]つまみは一度設定したらあまり触らず、通常、音量は[LEVEL]つまみを使って調節します。各機能について詳しくは「各部の名称と機能」をご覧ください。

# 各部の名称と機能

## トップパネル

### チャンネルセクション (入力部 ①～⑯)



#### ① [MIC/LINE] モノラル入力端子(チャンネル1～6)

マイク、楽器、オーディオ機器を接続します。XLR、フォーンの両プラグに対応しています。

#### ② [PAD]スイッチ

オン(■)にすると、本体に入力した音が減衰されます。音が歪んでいるときや[PEAK]LED⑯が点灯する場合は、オン(■)にしてください。

#### NOTE

スイッチを切り替えるときは、ノイズが出る場合がありますので、[LEVEL]ツマミを最小「0」にしてから切り替えてください。

#### ③ [HPF] (ハイパスフィルター)スイッチ

オン(■)にするとハイパスフィルターがかかり、80Hz以下の低い音が取り除かれます。マイクが拾った振動や風切り音を軽減するため、マイクで人の声を入力するときは通常オン(■)にします。

#### ④ [GAIN]つまみ

チャンネル1～6の基準となる音量を決めます。強く歌ったときや強く弾いたときに[PEAK]LED⑯が一瞬点灯する程度につまみを調節します。

#### ⑤ [COMP]つまみ

コンプレッサーのかかり具合を調節します。つまみを右に回すと、スレッショルド、レシオ、出力レベルが同時に調整されます。

- スレッショルド: +22 dBu～-8 dBu
- レシオ: 1:1～4:1
- 出力レベル: 0 dB～+7 dB
- アタックタイム: 約25 ms
- リリースタイム: 約300 ms

#### ⑥ [PHANTOM +48V]スイッチ/LED

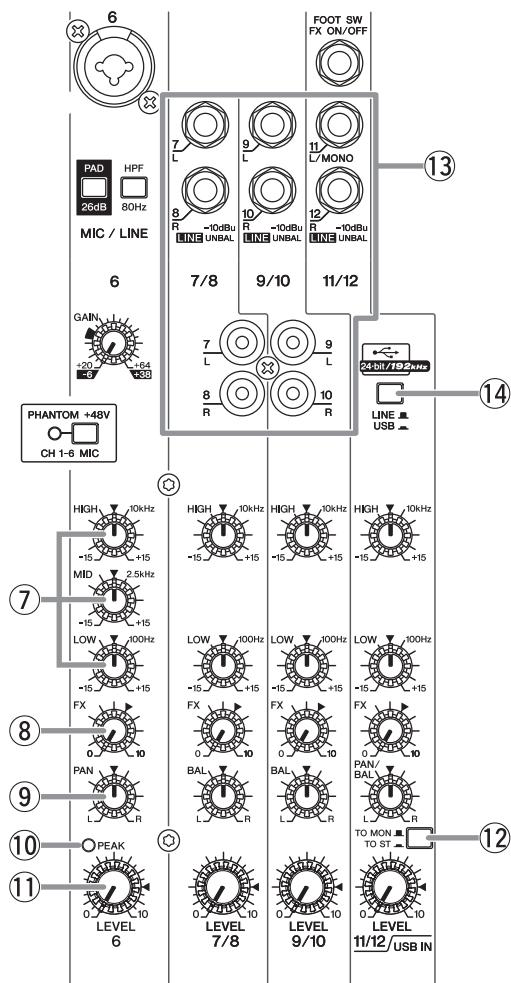
スイッチをオン(■点灯)にすると、[MIC/LINE]モノラル入力端子①のXLRプラグにDC+48Vのファンタム電源が供給されます。コンデンサーマイクを使用するときは、このスイッチをオンにしてください。

#### 注記

ファンタム電源が不要な場合、スイッチをオフ(■)にしてください。

ファンタム電源をオンにする場合、本体や外部機器の故障やノイズを防ぐために、次の内容にご注意ください。

- チャンネル1～6にファンタム電源非対応の機器を接続するときは、スイッチをオフにする。
- スイッチをオンにしたまま、チャンネル1～6でケーブルの抜き差しをしない。
- ファンタム電源のオン/オフは、チャンネル1～6の[LEVEL]つまみを最小にした状態で行なう。



#### ⑦ イコライザー (EQ) つまみ

[HIGH]高音域、[MID]中音域、[LOW]低音域のつまみを使って音質を調整します。音質調整が不要な場合は、「▼」(フラット)の位置に設定してください。

#### ⑧ [FX](エフェクト)つまみ

各チャンネルから、内蔵エフェクトや[FX SEND]端子に送られる音量を調節します。

#### ⑨ [PAN]つまみ(チャンネル1~6)

[BAL]つまみ(チャンネル7/8、9/10)

[PAN/BAL]つまみ(チャンネル11/12)

[PAN]: ステレオバスに送る各チャンネルの音量バランスを調整し、音像を左右(ステレオ L/R)のどの位置に定位させるかを決めます。つまみが12時の位置にあるときは、ステレオバス L、Rに同じ音量で送られ、音像は中央に定位します。

**[BAL]:** ステレオバスに送るステレオチャンネル(7/8 ~ 11/12)(L/R)の音量バランスを決めます。つまみが12時の位置にあるときは、ステレオチャンネル(L/R)の音がそれぞれ同じ音量でステレオバス L、Rに送られます。

**[PAN/BAL]:** [PAN]と[BAL]の両方の機能を備えています。[LINE](L/MONO)端子だけに音を入力した場合は[PAN]として、[LINE](L/R)の両端子に音を入力した場合は[BAL]として利用できます。

#### ⑩ [PEAK] LED

入力した音およびイコライザー調整後の音量が大きすぎる場合(クリッピングの手前3 dBに達する場合)に、点灯します。頻繁に点灯する場合は、[GAIN]つまみ④を左へ回して音量を下げてください。

#### ⑪ [LEVEL] つまみ

各チャンネル間の音量のバランスを調節します。基本は「◀」の位置に合わせておきます。

#### ⑫ [TO MON ■ /TO ST ■] スイッチ

チャンネル11/12に入力した音の出力先を選択します。通常は[TO ST ■]に設定してください。ただし、[USB 2.0]端子にコンピューターを接続して使用する場合は、「リアパネル USBセクション」の表にしたがって、用途によってスイッチを切り替えてください。

#### ⑬ [LINE] ステレオ入力端子(チャンネル7/8~11/12)

電子キーボードやオーディオ機器などのラインレベルの機器を接続します。フォーン、RCAピンのプラグに対応しています。

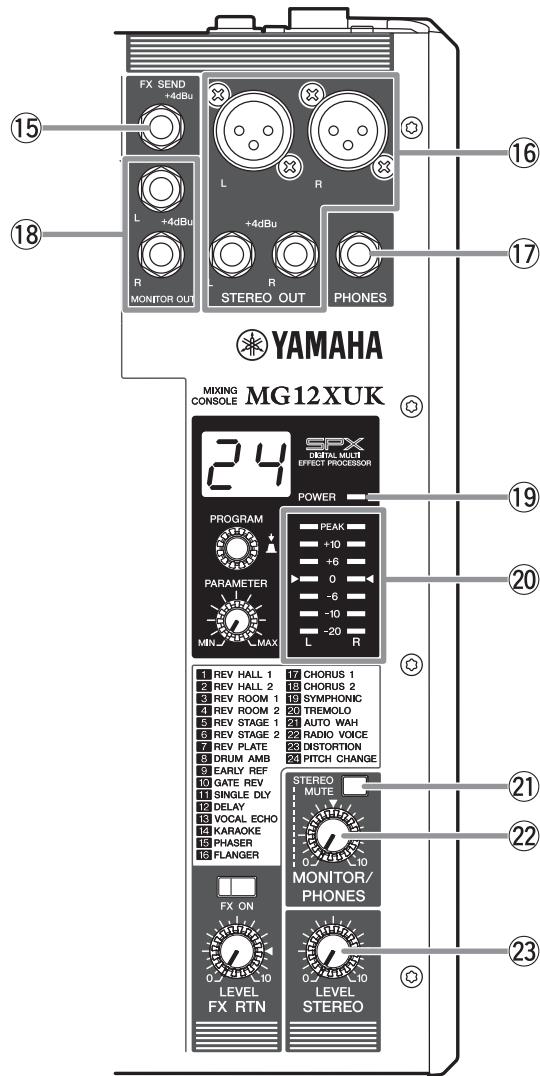
#### NOTE

チャンネル7/8、9/10でフォーン端子とRCAピン端子の両方にプラグを接続した場合は、フォーン端子の入力が優先されます。

#### ⑭ [LINE ■ /USB ■] スイッチ

チャンネル11/12に入力する音のソースを、[LINE ■]のときは[LINE]ステレオ入力端子⑬に、[USB ■]のときは[USB 2.0]端子に切り替えます。

## トップパネル マスターセクション (出力部 ⑯～⑯)



### ⑯ [FX SEND] 端子

外部エフェクターや演奏者用のモニターシステムを接続します。[FX]つまみで調節した音が出力されます。フォーンプラグに対応しています。

### ⑯ [STEREO OUT] 端子

パワードスピーカーまたはパワーアンプを接続します。XLR、フォーンの両プラグに対応しています。

### ⑯ [PHONES] 出力端子

ヘッドホンを接続します。ステレオフォーンプラグに対応しています。

### ⑯ [MONITOR OUT] 端子

オペレーター用モニターシステムなどを接続します。フォーンプラグに対応しています。

### ⑯ [POWER] LED

リアパネルの[**レバ** / **リ**]スイッチ⑯をオンにする([**リ**]側に倒す)と点灯します。

### ⑯ レベルメーター

[STEREO OUT]端子から出力されるレベル(音量)を、「PEAK」(+17)、「+10」、「+6」、「0」、「-6」、「-10」、「-20」dBの7段階で表示します。「PEAK」(赤)が点灯し続けたら、[STEREO LEVEL]つまみを左に回して音量を下げてください。

### ⑯ [STEREO MUTE] スイッチ

オン(**■**)にすると、[MONITOR OUT]端子や[PHONES]端子の出力からステレオバスの音がミュートされます。このとき、チャンネル11/12の[TO MON **■** / TO ST **■**]スイッチ⑯を[TO MON **■**]にすることで、チャンネル11/12の音だけを聞くことができます。スイッチの詳しい説明は、16ページの「リアパネル USBセクション」をご覧ください。

### ⑯ [MONITOR/PHONES] つまみ

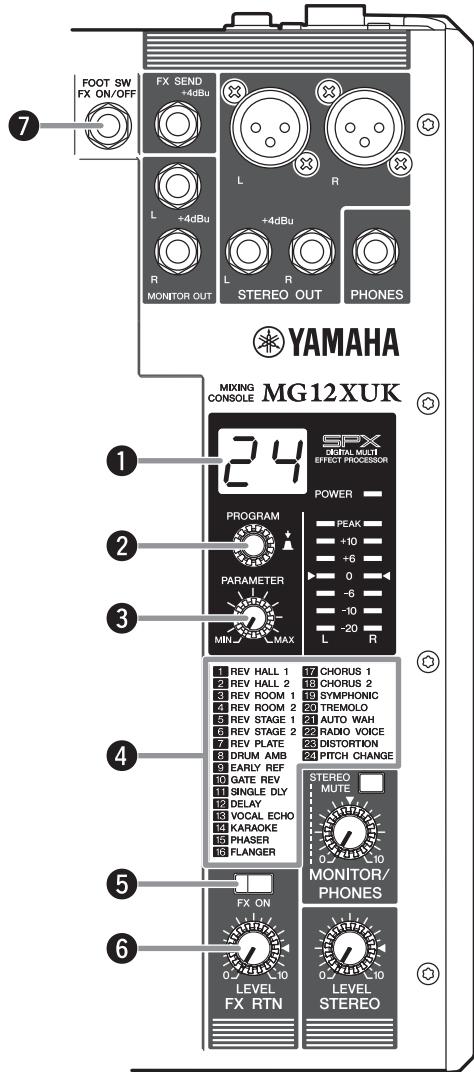
[MONITOR OUT]端子と[PHONES]端子に出力される音量を調節します。

### ⑯ [STEREO LEVEL] つまみ

[STEREO OUT]端子から出力される全体の音量を調節します。

## トップパネル

### 内蔵エフェクトセクション (出力部 ①～⑦)



#### ① ディスプレイ

②の[PROGRAM]つまみで選択したエフェクトプログラムの番号が表示されます。選択中は番号が点滅しますが、決定せずに一定時間が経過すると、前回選択した番号に戻ります。

#### ② [PROGRAM]つまみ

内蔵エフェクトを24種類のエフェクトプログラムから選択します。エフェクトのかけ方は17ページの「エフェクトをかける」をご覧ください。

#### NOTE

[PROGRAM]つまみを押しながら回すこと(押して決定することなく)、エフェクトプログラムを選択することもできます。

#### ③ [PARAMETER]つまみ

選択したエフェクトプログラムのパラメーター(エフェクトの効き具合や変化の速さなど)を調整します。パラメーターの値はエフェクトプログラムごとに保存されます。パラメーターについては17ページの「エフェクトプログラム一覧」をご覧ください。

#### NOTE

エフェクトプログラムを切り替えたときは、[PARAMETER]つまみの位置に関係なく、前回そのエフェクトで設定した値が有効になります。いったん[PARAMETER]つまみを回すと、つまみの位置の値が有効になります。

#### ④ エフェクトプログラムリスト

内蔵エフェクトプログラムのリストです。プログラムの詳細については、17ページの「エフェクトプログラム一覧」をご覧ください。

#### ⑤ [FX ON]スイッチ

オン(■)になると、内蔵エフェクトが有効になり、スイッチが点灯します。オン(■)のときに、フットスイッチで内蔵エフェクトをオフにすると、スイッチのLEDが点滅します。

#### ⑥ [FX RTN LEVEL]つまみ

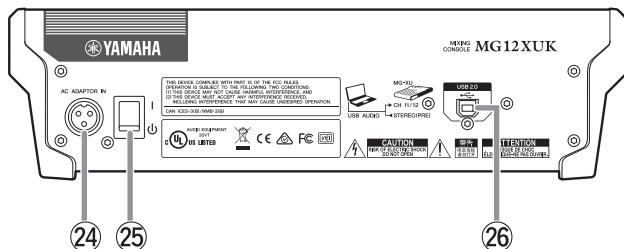
内蔵エフェクトの音量を調節します。

#### ⑦ [FOOT SW]端子

別売のフットスイッチ(ヤマハFC5などのアンラッチタイプ)を接続します。フットスイッチを接続すると、⑤の[FX ON]スイッチがオン(■)に設定されているときに、内蔵エフェクトのオン/オフを足元で切り替えることができます。フォーンプラグに対応しています。

## リアパネル

### USBセクション(24)～(26)



#### 注意

電源オン時にはパネルの温度が上昇(15～20°C)しますが、異常ではありません。周辺の温度が30°Cを超える環境では、パネルが50°C以上になる場合がありますので、やけどなどにご注意ください。

#### 24 [AC ADAPTOR IN]端子

付属の電源アダプターを接続します。

#### 25 [S/]スイッチ

電源のS(スタンバイ)/I(オン)を切り替えます。I(オン)のときにトップパネルの[POWER]LED⑯が点灯します。

#### NOTE

[S/]スイッチのスタンバイ/オンを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。[S/]スイッチをスタンバイにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。

#### 注記

[S/]スイッチがスタンバイの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。

#### 26 [USB 2.0]端子

市販のUSB2.0ケーブルを使って、コンピューターに接続する端子です(本製品にはケーブルは付属していません)。コンピューターへはステレオバスの音が出力されます([STEREO LEVEL]つまみ⑬の影響は受けません)。コンピューターからの入出力には、専用のUSBドライバーが必要な場合があります。事前に下記のヤマハウェブサイトからダウンロードし、コンピューターにインストールしてお使いください。また、3メートル以下のケーブルをご使用ください。

[http://www.yamahaproaudio.com/mg\\_xu/](http://www.yamahaproaudio.com/mg_xu/)

#### ■ コンピューターと接続して使用する

11/12の[LINE ■/USB ■]スイッチ⑭を[USB ■]にします。用途によってチャンネル11/12の[TO MON ■/TO ST ■]スイッチ⑫と[STEREO MUTE]スイッチ⑪を切り替えて、出力先とモニター音を設定します。詳しくは、下の表をご覧ください。

#### ■ コンピューターからの再生音量を調節する (アッテネーター)

- [PROGRAM]つまみを5回押して、ディスプレイにアッテネーターの減衰値(dB)を表示させます。
- [PROGRAM]つまみを回して、-24 dB～0 dBの間で設定します(「-」(マイナス)表示は省略)。
- 再度[PROGRAM]つまみを押して設定を終了します。アッテネーターが有効の場合、ディスプレイの右下にドットが点灯します。

#### 出力先とモニター音

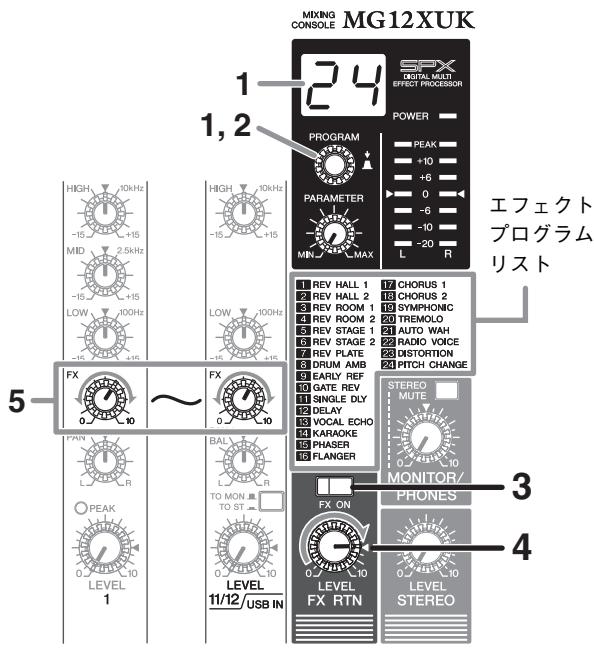
用途	チャンネル11/12の出力先の選択		ヘッドホン/モニタースピーカーでモニターする音の選択	
	[TO MON ■/TO ST ■]スイッチ	出力先	[STEREO MUTE]スイッチ	モニター音
DAWソフトなどを使用して、コンピューターからの再生音を聞きながら録音する場合	[TO MON ■]*1	[MONITOR OUT]端子*2 [PHONES]端子*2	オン(■)	MG12XUKに入力された楽器の直接音をミュートし、DAWからの再生音だけを聞くことができます。 (ダイレクトモニタリング:オフ)
			オフ(■)	MG12XUKに入力された楽器の直接音とDAWからの再生音をミックスして聞くことができます。 (ダイレクトモニタリング:オン)
コンピューターからの音を再生する場合 (例: BGM再生、インターネット放送)	[TO ST ■]	ステレオバス→[STEREO OUT]端子	通常はオフ(■)で使用します。	MG12XUKに入力された楽器の音とコンピューターからの再生音をミックスして聞くことができます。

\*1 注記: DAWソフトを使用している場合、[TO ST ■]にすると、ループが形成されてハウリングが起こる場合があります。

\*2 ステレオバスを経由しないため、コンピューターへは音声が送られません。

# エフェクトをかける

MG12XUKは、ヤマハマルチエフェクターSPXシリーズと同クラスのエフェクトを内蔵しています。下記の手順でエフェクトをかけることによって、バリエーション豊かな音作りができます。



1. [PROGRAM] つまみを回して、エフェクトプログラムリストから目的のエフェクトプログラム番号を選びます。

選択中のエフェクトプログラム番号がディスプレイに点滅表示されます。

#### NOTE

エフェクトプログラムの詳細は、右の「エフェクトプログラム一覧」をご覧ください。

2. [PROGRAM] つまみを押して決定します。  
目的のエフェクトプログラムが選択されます。
3. [FX ON]スイッチをオン(■)にします。
4. [FX RTN LEVEL] つまみを「◀」の位置に合わせます。
5. エフェクトをかけたいチャンネルの[FX] つまみを回して、エフェクトのかかり具合を調節します。

## エフェクトプログラム一覧

番号	プログラム	パラメーター	エフェクトの内容
1	REV HALL 1	Reverb Time	コンサートホールなどの広い空間の響きをシミュレートしたリバーブ(残響音)
2	REV HALL 2	Reverb Time	
3	REV ROOM 1	Reverb Time	小さな空間(部屋)での響きをシミュレートしたリバーブ
4	REV ROOM 2	Reverb Time	
5	REV STAGE 1	Reverb Time	広いステージをシミュレートしたリバーブ
6	REV STAGE 2	Reverb Time	
7	REV PLATE	Reverb Time	鉄板の響きをシミュレートしたリバーブ、硬めの残響感
8	DRUM AMB	Reverb Time	ドラムセットに適した短めのリバーブ
9	EARLY REF	Room Size	残響の初期反射音のみを取り出したエフェクト、リバーブよりも派手な効果
10	GATE REV	Delay Time	残響音を途中で遮断して得られるエフェクト
11	SINGLE DLY	Delay Time	同じ音が1度だけ繰り返されるエフェクト、ディレイタイムを短くするとダブリングの効果
12	DELAY	Delay Time	遅延させた信号を複数付加、いわゆるフィードバックディレイ
13	VOCAL ECHO	Delay Time	ボーカル用途に最適なエコー
14	KARAOKE	Delay Time	カラオケに使用するのを意識したエコー
15	PHASER	LFO(*)周波数	位相を変化させて音にうねりを付加
16	FLANGER	LFO(*)周波数	ジェット機の上昇下降音のようなうねりの効果を付加
17	CHORUS 1	LFO(*)周波数	異なる遅延時間の音を複数加えて、音に厚みを付加
18	CHORUS 2	LFO(*)周波数	
19	SYMPHONIC	LFO(*)Depth	音を多重化することで厚みのある響きを付加
20	TREMOLO	LFO(*)周波数	音にゆれるような効果を付加
21	AUTO WAH	LFO(*)周波数	周期的に変化するワウ効果を付加、[PARAMETER] つまみで、ワウフィルターを制御するLFO(*)の周波数を調整
22	RADIO VOICE	Cutoff Offset	信号をAMラジオ風のローファイな感じに加工、[PARAMETER] つまみで強調する周波数帯域を変更可能
23	DISTORTION	Drive	音を歪ませる、いわゆるディストーション
24	PITCH CHANGE	Pitch	信号のピッチ(音程)を変化させる

\* LFO: Low Frequency Oscillator(低周波発振器)の略です。別の信号を周期的に変化(変調)させる場合に使います。

# 困ったときは？

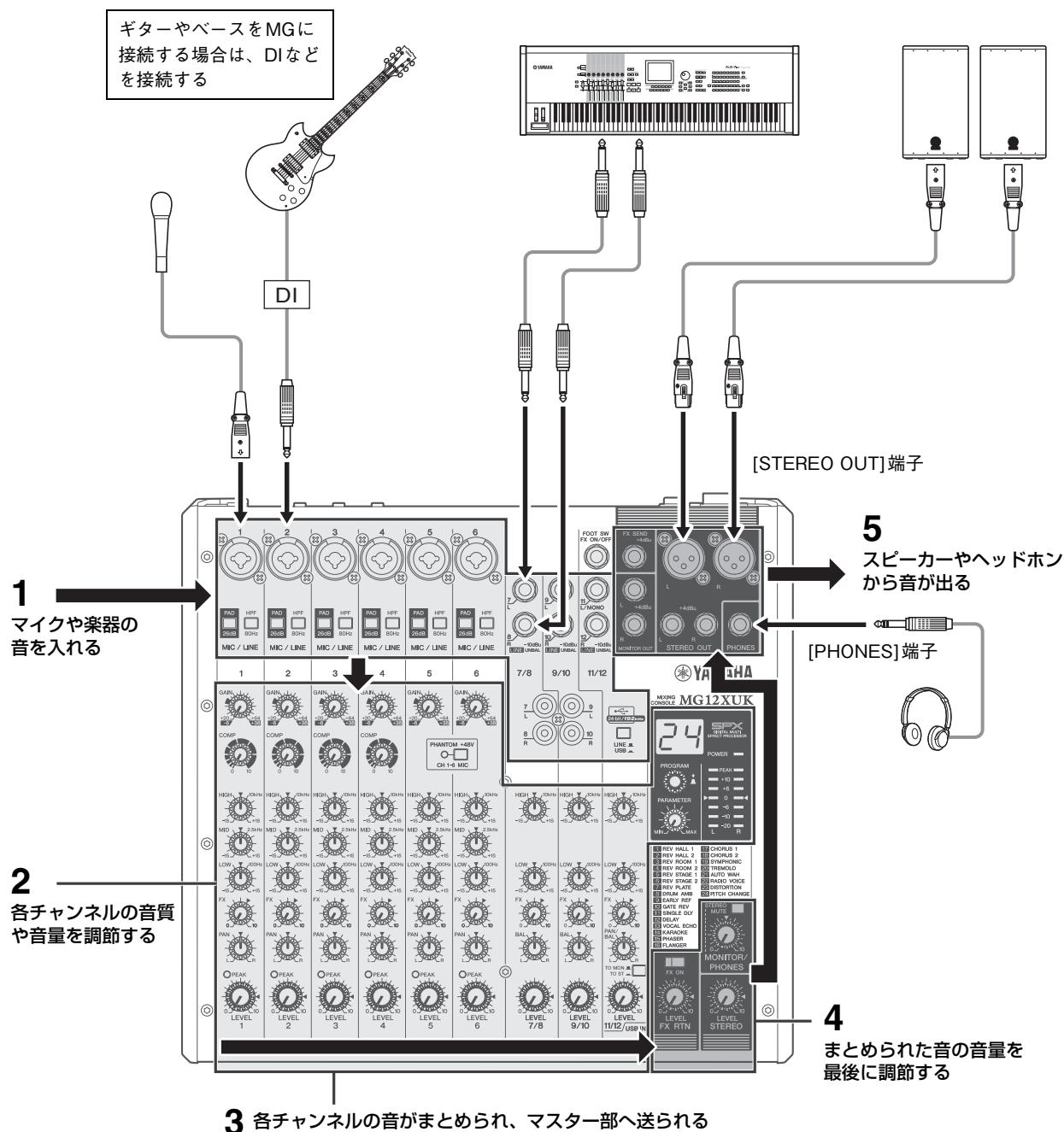
## 音が出ないときは

音が出ないときや音が小さいときなど、困ったときに活用してください。[STEREO OUT]端子や[PHONES]端子から出力する場合の設定です。

機能の詳細については、「各部の名称と機能」(12~16ページ)をご参照ください。

### ■ STEP 1 接続と信号の流れ

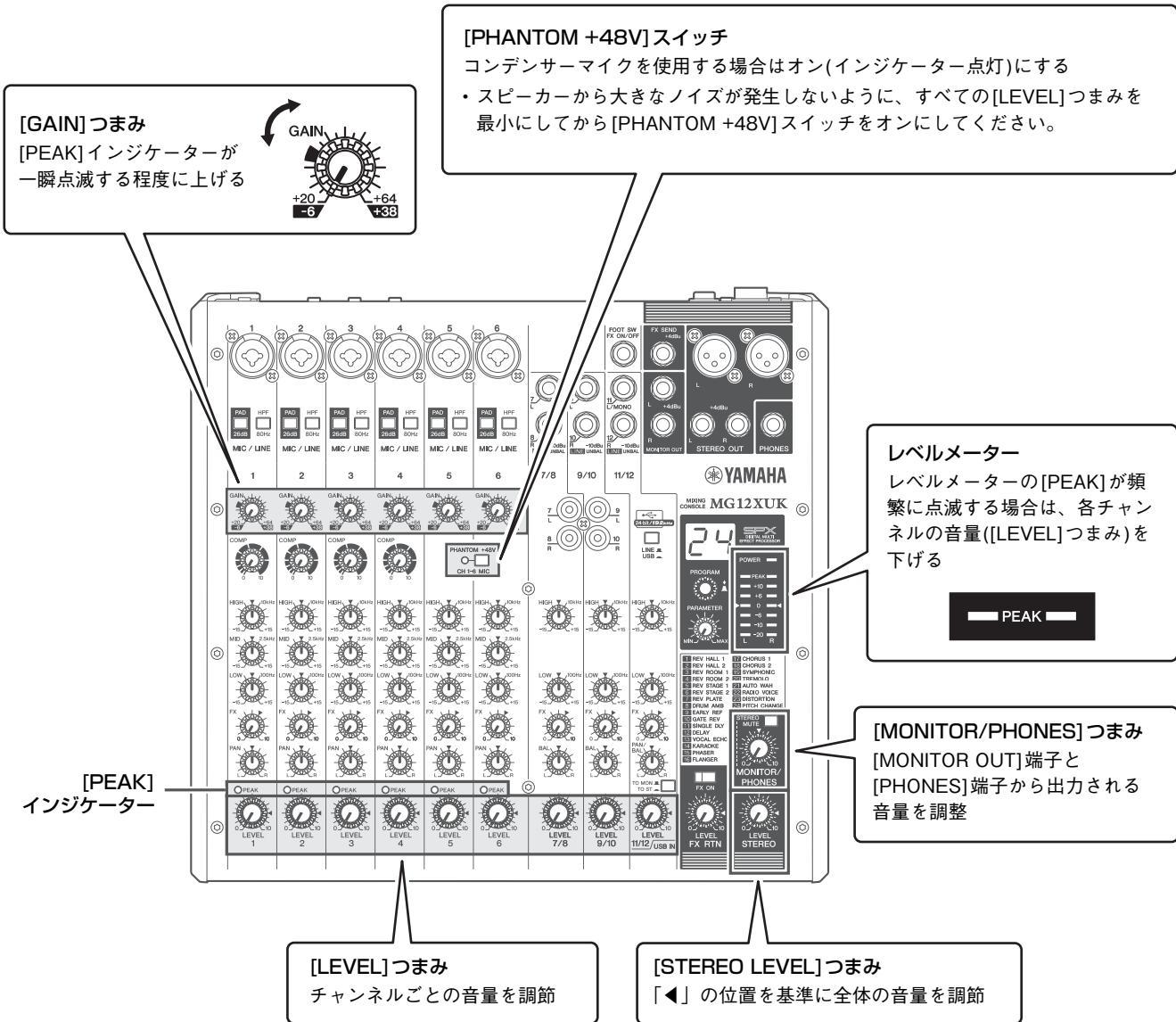
楽器やマイク、スピーカーは正しく接続されているか、または、断線したケーブルを使用していないか確認してください。



## ■ STEP 2 スイッチ、コントロールの設定

### 全体のバランスを確認する

イラストの設定にすると、スピーカーとヘッドホンから全体のバランスを確認できます。



## その他

■ 電源が入らない	<input type="checkbox"/> 独立した電源ユニット(発電機など)やスイッチ付き電源タップに接続していませんか？ その電源がオンになっているか確認してください。
■ 音が出ない	<input type="checkbox"/> 外部機器(マイクを含む)やスピーカーは、正しく接続されていますか？ <input type="checkbox"/> ケーブルがショート(断線)していませんか？ <input type="checkbox"/> 各チャンネルの[GAIN]つまみ、[LEVEL]つまみ、[STEREO LEVEL]つまみなどは、適切に調節されていますか？ <input type="checkbox"/> [LINE ■ /USB ■]スイッチは適切に設定されていますか？
■ 音が小さい、音が歪む、雑音に入る	<input type="checkbox"/> マイクは[MIC/LINE]端子に接続されていますか？ <input type="checkbox"/> コンデンサーマイクを使用している場合は、[PHANTOM +48V]スイッチがONになっていますか？ <input type="checkbox"/> [PAD]スイッチがオンになっていませんか？ マイクなど、出力レベルの小さいソースを入力するときはオフにしてください。 <input type="checkbox"/> ミキサーに接続した機器の出力信号レベルは適切ですか？ <input type="checkbox"/> 出力規定レベルが+4 dBuの機器を接続するときには、モノラル入力チャンネルの[PAD]スイッチをONにするか、ステレオ入力チャンネルを使用してください。 <input type="checkbox"/> ひとつのインプットチャンネルにXLRタイプとフォーンタイプ、またはフォーンタイプとRCAピンタイプの両方を接続していませんか？ どちらか一方の端子だけをご使用ください。 <input type="checkbox"/> 各チャンネルの[GAIN]つまみ、[LEVEL]つまみ、[STEREO LEVEL]つまみなどは、適切に調節されていますか？ <input type="checkbox"/> エフェクトやコンプレッサーをかけすぎていませんか？ [FX]つまみ、[FX RTN LEVEL]つまみ、[COMP]つまみでレベルを下げてください。
■ エフェクトがかからない	<input type="checkbox"/> 各チャンネルの[FX]つまみは、適切に調節されていますか？ <input type="checkbox"/> [FX RTN]の[FX ON]ボタンは、オンになっていますか？ <input type="checkbox"/> [PARAMETER]つまみと[FX RTN LEVEL]つまみは、適切に調節されていますか？
■ スピーチの声をはっきりさせたい	<input type="checkbox"/> [HPF]スイッチは、オンになっていますか？ <input type="checkbox"/> EQ(イコライザー、[HIGH]/[MID]/[LOW])は、適切に調節されていますか？
■ ミキサーのモニター用の信号を出力したい	<input type="checkbox"/> [MONITOR OUT]端子にアンプ内蔵スピーカー(パワードスピーカー)を接続してください。 [MONITOR OUT]端子の出力信号は、[MONITOR/PHONES]つまみで調節してください。
■ ステレオの信号を入力したときに、左右の音量が違う	<input type="checkbox"/> [PAN]の設定はセンターになっていますか？ センターになっている場合は、接続を入れ替えてお試しください。接続端子を左右で入れ替えたときに、音量が小さいほうが入れ替わったら、信号を送信している機器をご確認ください。 <input type="checkbox"/> 接続しているケーブルの種類は左右で同じですか？ 抵抗入りのケーブルなどでは音量が小さくなります。
■ 音が揺れる	<input type="checkbox"/> コンプレッサーをかけすぎていませんか？ [COMP]つまみのレベルを下げてください。
■ コンピューターからの再生音量を調整したい	<input type="checkbox"/> アッテネーター機能を使用してください。詳細は、16ページをご参照ください。

上記の対策を行なっても症状が改善しない場合は、巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

# Technical Specifications

## 一般仕様

0 dBu = 0.775 Vrms シグナルジェネレーターの出力インピーダンス : 150 Ω 特に指定のない場合、コントロールはノミナル位置。

周波数特性	入力チャンネル →STEREO OUT	+0.5 dB/-1.0 dB (20 Hz~48 kHz)、 refer to the nominal output level@ 1 kHz、GAIN ツマミ: 最小
全高調波歪率 (THD+N)	入力チャンネル →STEREO OUT	0.02 % @ +14 dBu (20 Hz~20 kHz)、GAIN ツマミ: 最小 0.003 % @ +24 dBu (1 kHz)、GAIN ツマミ: 最小
ハム & ノイズ *1 (20 Hz~20 kHz)	入力換算ノイズ 出力残留ノイズ	-128 dBu (モノラルインプットチャンネル、Rs: 150 Ω、GAIN ツマミ: 最大) -102 dBu (STEREO OUT、STEREO LEVEL ツマミ: 最小)
クロストーク(1 kHz) *2		-83 dB
入力チャンネル		12チャンネル: モノラル(MIC/LINE): 6、ステレオ(LINE): 3
出力チャンネル		STEREO OUT: 2、PHONES: 1、MONITOR OUT: 1、FX SEND: 1
バス		STEREO: 1、FX: 1
入力チャンネル機能	PAD	CH 1 - CH 6 26 dB
	HPF (ハイパスフィルター)	CH 1 - CH 6 80 Hz、12 dB/oct
	COMP	CH1 - CH4 スレッショルド: +22dBu~-8dBu レシオ: 1:1~4:1 出力レベル: 0dB~7dB アタックタイム: 約25msec リリースタイム: 約300msec
	EQ (イコライザー)	CH1 - CH6 HIGH: ゲイン: +15 dB/-15 dB、カットオフ周波数: 10 kHz シェルビング MID: ゲイン: +15 dB/-15 dB、中心周波数: 2.5 kHz、ピーキング LOW: ゲイン: +15 dB/-15 dB、カットオフ周波数: 100 Hz シェルビング
		CH 7/8 - CH 11/12 HIGH: ゲイン: +15 dB/-15 dB、カットオフ周波数: 10 kHz シェルビング LOW: ゲイン: +15 dB/-15 dB、カットオフ周波数: 100 Hz シェルビング
	PEAK LED	CH1 - CH6 イコライザー後の信号がクリッピングの手前3 dBに達すると点灯
レベルメーター	STEREO LEVEL つまみ調節後	2 x 7ポイントLED メーター (PEAK、+10、+6、0、-6、-10、-20 dB)
内蔵デジタルエフェクト	SPXアルゴリズム	24種類、パラメーターコントロール: 1、フットスイッチ端子: 1 (FX RTN チャンネル オン/オフ)
USBオーディオ	2 IN / 2 OUT	USB Audio Class 2.0 準拠 対応サンプリング周波数: 最大192 kHz、対応量子化ビット数: 24bit
ファンタム電源		+48 V
電源アダプター		PA-10 (AC 38 VCT、0.62A、ケーブル長 = 3.6 m) またはヤマハ推奨の同等品
消費電力		22.9 W
寸法 (幅×高さ×奥行き)		315 mm × 91 mm × 297 mm
質量		3.0 kg
同梱品		取扱説明書、電源アダプター、Cubase AI Download information
オプション(別売)品		フットスイッチ: FC5
動作環境温度		0~+40°C

\*1 ノイズはA-weighting フィルターで測定。

\*2 1 kHz バンドパスフィルターで測定。

## アナログ入力規格

0 dBu = 0.775 Vrms

Input Terminals	PAD 26 dB	GAIN Trim Position	Actual Load Impedance	For Use with Nominal	Input Level			Connector
					Sensitivity *1	Nominal	Max. before clip	
MIC/LINE 1 - 6	OFF	+64 dB	3kΩ 50–600Ω Mics/Lines	-72 dBu (0.195 mV)	-60 dBu (0.775 mV)	-40 dBu (7.75 mV)	Combo jack *2 (Balanced)	
		+20 dB			-28 dBu (30.9 mV)	-16 dBu (122.8 mV)	+4 dBu (1.228 V)	
	ON	+38 dB			-46 dBu (3.884 mV)	-34 dBu (15.46 mV)	-14 dBu (154.6 mV)	
		-6 dB			-2 dBu (615.6 mV)	+10 dBu (2.451 V)	+30 dBu (24.51 V)	
		—			-22 dBu (61.56 mV)	-10 dBu (245.1 mV)	+10 dBu (2.451 V)	
LINE 7/8, 9/10	—	—	10kΩ	600Ω Lines				Phone jack *3 RCA pin (Unbalanced)
LINE 11/12								Phone jack *3 (Unbalanced)

\*1 入力感度：最大レベル設定時で +4 dB (1.228 V) またはノミナルレベルを出力するときに得られる最小レベル ( レベルコントロールはすべて最大 )。

\*2 バランス型コンボジャック (1&S= グラウンド、2&T= ホット、3&R= コールド )

\*3 アンバランス型フォーンジャック (T= シグナル、S= グラウンド )

## アナログ出力規格

0 dBu = 0.775 Vrms

Output Terminals	Actual Source Impedance	For Use with Nominal	Output Level		Connector
			Nominal	Max. before Clip	
STEREO OUT [L, R]	75Ω	600Ω Lines	+4 dBu (1.228 V)	+24 dBu (12.28 V)	XLR-3-32 *1 Phone jack *2 (Balanced)
MONITOR OUT [L, R] FX SEND	150Ω	10kΩ Lines	+4 dBu (1.228 V)	+20 dBu (7.750 V)	Phone jack *2 (Impedance Balanced)
PHONES	110Ω	40Ω Phones	3 mW + 3 mW	100 mW + 100 mW	Stereo phone jack

\*1 バランス型 XLR-3-32 タイプ端子 (1= グラウンド、2= ホット、3= コールド )

\*2 T= ホット、R= コールド、S= グラウンド

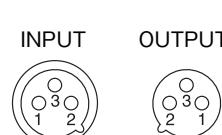
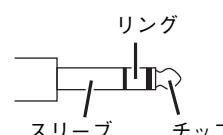
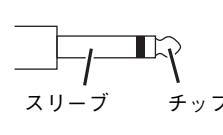
## デジタル入出力規格

Terminals	Format	Data Length *1	Fs	Connector
USB	USB Audio Class 2.0	16 /24 bit	44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz, 176.4 kHz, 192 kHz	USB Standard-B

\*1 データ長はお使いのオーディオフォーマットによって異なります。USB audio Class 2.0 使用時は 16 ビットか 24 ビットです。

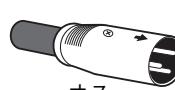
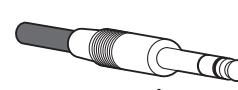
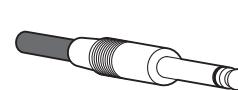
Yamaha Steinberg USB driver 使用時は 24 ビットです。

## 端子/コネクター一覧

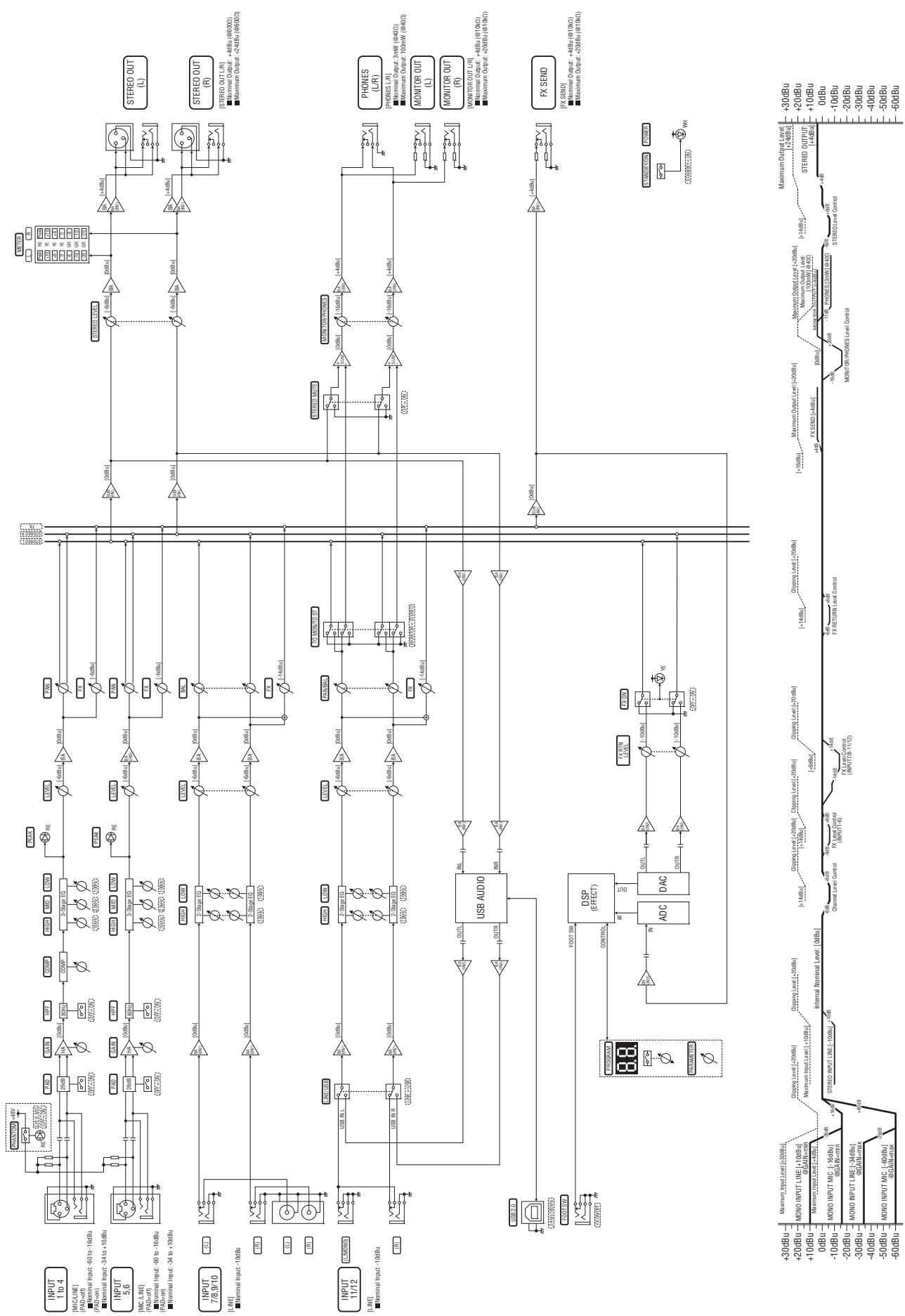
入出力端子/コネクター名	端子/コネクターの極性	端子/コネクターの形状
MIC/LINE、STEREO OUT	ピン1：グラウンド ピン2：ホット(+) ピン3：コールド(-)	 <b>XLR端子</b>
MIC/LINE*、AUX SEND、MONITOR OUT、STEREO OUT	チップ：ホット(+) リング：コールド(-) スリーブ：グラウンド	 <b>TRS フォーン</b>
PHONES	チップ：L リング：R スリーブ：グラウンド	
LINE (ステレオ入力チャンネル)	チップ：ホット スリーブ：グラウンド	 <b>TS フォーン</b>

\* これらの入出力端子にTSフォーンで接続することもできます。その場合は、アンバランスになります。

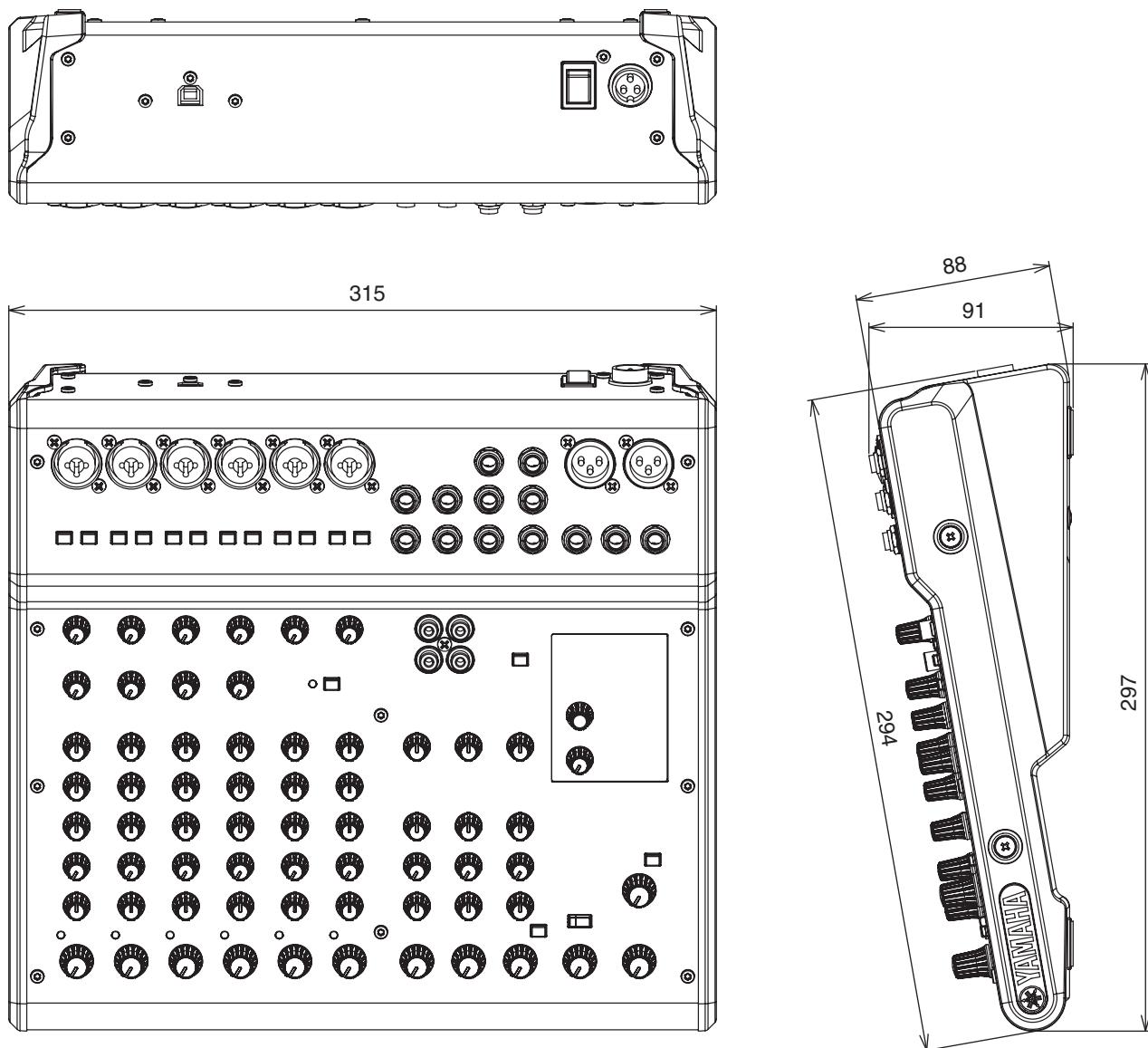
## コネクターの種類

<b>XLR</b>	外来ノイズに強い3極のコネクターで、バランス信号を送ります。接続先の回路が正しく設計されていれば、アンバランス信号でも問題なく送れます。マイクの接続やプロオーディオ機器の入出力などにXLRを使います。	 <b>オス</b>  <b>メス</b>
<b>フォーン</b>	フォーンにはTRSタイプとTSタイプの2種類があります。TRSタイプは、ヘッドホンなどのステレオ信号やインサートI/O、バランス方式の伝送に使われます。TSタイプはアンバランス方式専用でエレキギターなどの楽器に多く使われます。	 <b>TRS タイプ</b>  <b>TS タイプ</b>
<b>RCAピン</b>	オーディオ機器、AV機器で一般的に使われているアンバランス方式専用のコネクターです。信号の種類によって色分けされており、白がオーディオのL(左)チャンネル、赤がR(右)チャンネルの信号を送るのに使います。	 <b>白</b>  <b>赤</b>

## ブロック&レベルダイアグラム



## 寸法図



単位: mm

\*本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

# アフターサービス

## お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

### ●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

#### ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

 **0570-050-808**

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**

受付時間 月曜日～金曜日 11:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)  
オンラインサポート <https://jp.yamaha.com/support/>

### ●修理に関するお問い合わせ

#### ヤマハ修理ご相談センター

 **0570-012-808**

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

FAX 03-5762-2125 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)  
06-6649-9340 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

#### 修理品お持込み窓口

東日本サービスセンター  
〒143-0001 東京都大田区平和島2丁目1-1  
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F  
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター  
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17  
ナンバードビル7F  
FAX 06-6649-9340

#### 受付時間

月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

### ●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12  
KDX 箱崎ビル

## 保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

### ●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

### ●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのかは、製品ごとに定められています。

### ●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。  
使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

#### 有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

### ●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

### ●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

### ●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中止、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

\* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などは変更になる場合があります。

**持込修理****保証書**

品 名	ミキシングコンソール	
品 番	MG12XUK	
※シリアル番号		
保 証 期 間	本 体	お買上げの日から1ヶ年間
※ お買上げ日	年 月 日	
お 客 様	<input type="text"/> - <input type="text"/> ご住所 お名前 電 話 ( )	

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。  
 お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。  
 ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※ 販 売 店	店 名	印
	所在地	
	電 話	( )

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部  
 〒103-0015  
 東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル  
 TEL. 03-5652-3850

**保証規定**

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
  - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
  - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
 This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

\* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

\* ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

\* その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト  
<http://www.yamahaproaudio.com/>  
ヤマハダウンロード  
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group  
© 2018 Yamaha Corporation

2020年11月 発行 POEM-B0

VEY7170